

宮城県商工会 地区中小企業景況調査報告書

平成21年10月～12月期

目 次

1. 県下産業全体の景況	2
(1) 主要景況項目のあらまし	2
(2) 全国・東北ブロックに対する本県景況のあらまし	3
(3) 今後の見通しについて	4
2. 県下産業別の景況	5
(1) 製造業の動向	5
(2) 建設業の動向	8
(3) 小売業の動向	11
(4) サービス業の動向	14

平成22年1月

宮城県商工会連合会

中小企業景況調査報告書

平成 21 年 10 月～12 月期

[調査要領]

1. 調査対象

- (1) 対象地区 宮城県内 10 商工会地区
(調査対象商工会名) 名取市、大河原町、多賀城・七ヶ浜、くろかわ、加美
美里町、若柳金成、みやぎ北上、石巻かほく、本吉唐桑
- (2) 対象企業数 150 企業
- (3) 回答企業数 149 企業

2. 調査対象期間

平成 21 年 10 月～12 月期を対象として、調査時点は平成 21 年 11 月 15 日とした。

3. 調査方法

- (1) 商工会の経営指導員による訪問面接調査。
- (2) 対象企業の抽出は、商工会に於いて、業種・規模等有意選

4. 回答企業内訳

業 種	企 業 数
製 造 業	35
建 設 業	25
小 売 業	44
サービス業	45
合 計	149

5. そ の 他

本報告書中の D I とは、デフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(上昇・好転・長期化)企業割合と減少(低下・悪化・短期化)企業割合の差を示すものである。

1. 県下産業全体の景況

県下商工会地区における今期(平成 21 年 10 月～12 月)の景況調査結果から、産業全体の業況 D I は、前期同率の△60.7 であった。

主要 3 D I も、売上額が△51.1 (前期△52.0)、採算が△58.0 (同△55.2)、資金繰りは△47.0 (同△49.2) と産業全体としては、概ね前期並みの推移であった。

業種別では、製造業に若干の改善見られたが、小売業等は、「顧客の低価格志向が強くなり、需要流出が顕著、顧客離れの軽減策が最大の課題」との声が多い。

一方、採算は、建設業は、売上額の改善あったが採算は下降し、「異常なまでの価格競争が見受けられる」との声もあり、その収益環境の厳しさが伺える。

来期の見通しについては、建設業、製造業が売上額、採算ともに下降予測であることもあり、今期の景況調査結果は、全体として、厳しい認識が示されたものといえる。

別表 1～4 に見るとおり、各業種とも、D I マイナス値は、全国、東北に比較して大きく、来期見通しについても全国との格差が大きいものとなっている。

(1) 主要景況項目のあらまし

① 売上額(完成工事額)の状況

小売業が下降、建設業、製造業は上昇、サービス業は前期並みの推移であった。

なお、売上が「増加・上昇」の回答は建設業が全体の 24.0% (前期 12.5%) と増加したのに対して、小売業は 9.10% (同 19.0%) と減少した。

② 採算の状況

製造業は改善したが、他業種は全て悪化した。特に建設業が 11.7 ポイント、サービス業は 10.2 ポイントと下降幅が大きい。全体に採算面の厳しさがうかがえる。

③ 設備投資の状況

前期に引き続き全業種が、新規設備を実施した。

建設業の実施割合は全体の 20.0% (前期 8.3%) で前期を上回り、他は、概ね前期並みであった。来期の設備計画も、全業種に設備計画あるが、全て今期を下回る計画となっている。

(2) 全国・東北ブロックおよび本県景況のあらまし

① 売上額（完成工事額）

小売業、サービス業は、全国、東北、宮城ともに下降した。製造業、建設業は全国、宮城がともに改善、東北は下降した。小売業、サービス業とも需要停滞、大・中型店進出による競争激化等、経営環境の厳しさがうかがえる。

表—1 売上額（完成工事額）の状況（前年同期比・D I 値）

区分 業種	全 国		東 北		宮 城	
	前 期	今 期	前 期	今 期	前 期	今 期
製 造 業	△ 52.7	△49.0	△ 48.6	△ 49.6	△ 61.8	△ 55.9
建 設 業	△ 41.5	△39.4	△ 30.6	△ 32.8	△ 50.0	△ 28.0
小 売 業	△ 54.1	△ 54.6	△ 46.0	△ 57.4	△ 45.3	△ 59.1
サービス業	△ 48.5	△ 50.4	△ 46.8	△ 48.6	△ 52.2	△ 52.1

② 採 算

表—2 のとおり、製造業は、全国、東北、宮城ともに上昇、反面、小売業、サービス業が全地域で下降した。

特に宮城の製造業の改善幅が 16.1 ポイントと大きく、全国と同様に売上額、採算ともに改善した。

表—2 採算の状況（前年同期比・D I 値）

区分 業種	全 国		東 北		宮 城	
	前 期	今 期	前 期	今 期	前 期	今 期
製 造 業	△ 53.7	△ 47.9	△ 50.7	△ 49.5	△ 70.7	△ 54.6
建 設 業	△ 52.3	△ 50.4	△ 46.6	△ 49.1	△ 52.3	△ 64.0
小 売 業	△ 46.8	△ 47.7	△ 47.2	△ 49.0	△ 48.7	△ 53.4
サービス業	△ 46.3	△ 47.8	△ 43.0	△ 47.3	△ 51.2	△ 61.4

(3) 今後の見通しについて

① 県下産業全般の主要項目来期見通し

売上額の来期見通しは、サービス業の改善予測に対して、製造業、建設業、小売業は悪化予測となった。特に、建設業の下降幅が大きい。

採算は、小売業が悪化、他は好転予測であり、その結果小売業は、売上高、採算ともに下降予測となった。需要の停滞、競争の激化要因による先行き不安等、厳しい予測となっている。

③ 全国と本県企業の来期見通し比較

売上額は、表－3の通り、全国、宮城とも、サービス業が好転見通しに対して、建設業は、特に厳しい見通しとなった。

一方、採算は表－4の通り、全国は全業種が好転予測、宮城は、サービス業、建設業に大幅な好転予測あったが、他は、ほぼ今期並みの予測となっている。

表－3 売上額（完成工事額）来期見通し (D I 値)

区 分 業 種	全 国		宮 城	
	今 期	来 期	今 期	来 期
製 造 業	△ 49.0	△ 34.7	△ 55.9	△ 60.6
建 設 業	△ 39.4	△ 48.9	△ 28.0	△ 60.0
小 売 業	△ 54.6	△ 49.5	△ 59.1	△ 63.7
サービス業	△ 50.4	△ 47.7	△ 52.1	△ 41.0

表－4 採算来期見通し (D I 値)

区 分 業 種	全 国		宮 城	
	今 期	来 期	今 期	来 期
製 造 業	△ 47.9	△ 38.7	△ 54.6	△ 53.0
建 設 業	△ 50.4	△ 49.0	△ 64.0	△ 44.0
小 売 業	△ 47.7	△ 46.8	△ 53.4	△ 57.1
サービス業	△ 47.8	△ 43.1	△ 61.4	△ 39.6

2. 県下産業別の景況

(1) 製造業の動向

① 主要景況項目から見たあらまし

売上額DIは、前期比5.9ポイント、採算は16.1ポイント、資金繰り8.8ポイントと主要項目全てが改善した。

売上が「減少・悪化」の回答が全体の70.6%を占め、依然受注環境の厳しさがうかがえる。

一方、来期の見通しは、売上額が悪化、採算、資金繰りとも若干の改善予測となった。

経営上の問題点は「需要の停滞」を第一位に掲げた企業が全体の59.4%（前期50.0%）であり、今期も受注要因が主流となっている。

新規設備実施企業は、全体の14.7%と前期同率、来期の設備を計画している企業は、全体の5.9%と減少した。

② 主要景況項目別状況

(a) 売上(加工)額

「増加・上昇」と回答した企業は、全体の14.7%で前期と同率であった。

一方、「減少・悪化」と回答した企業は、前期比5.9ポイント減少の70.6%となり、結果として売上額DI△55.9は前期比5.9ポイントの改善となった。

図1-1 主要景況項目の推移
(前年同期比)

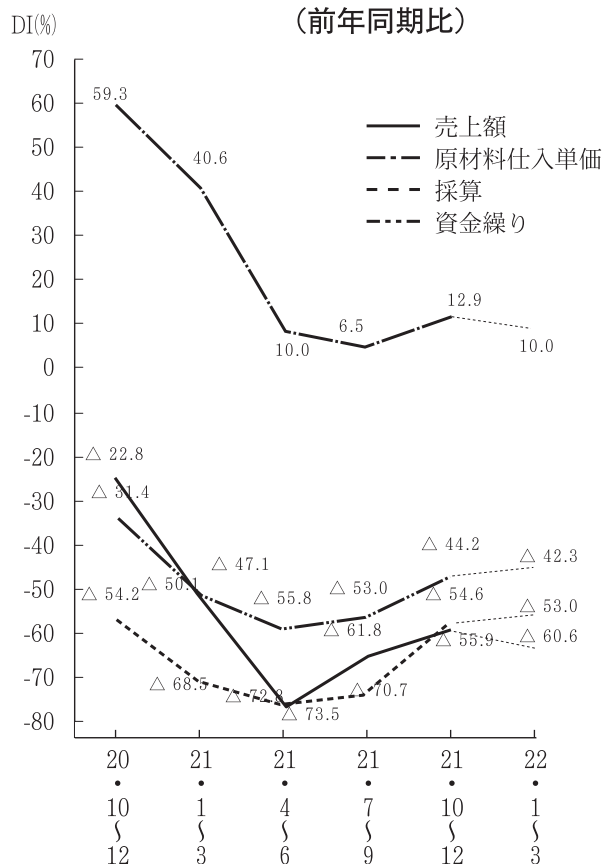
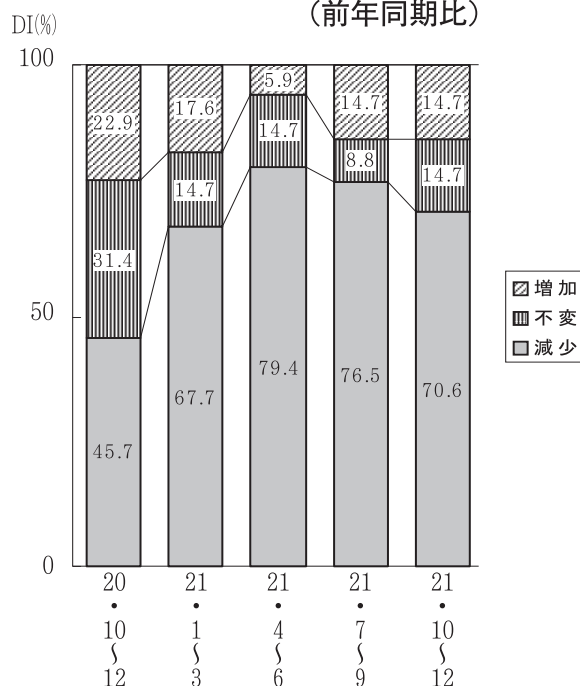


図1-2 売上(加工)額の状況
(前年同期比)



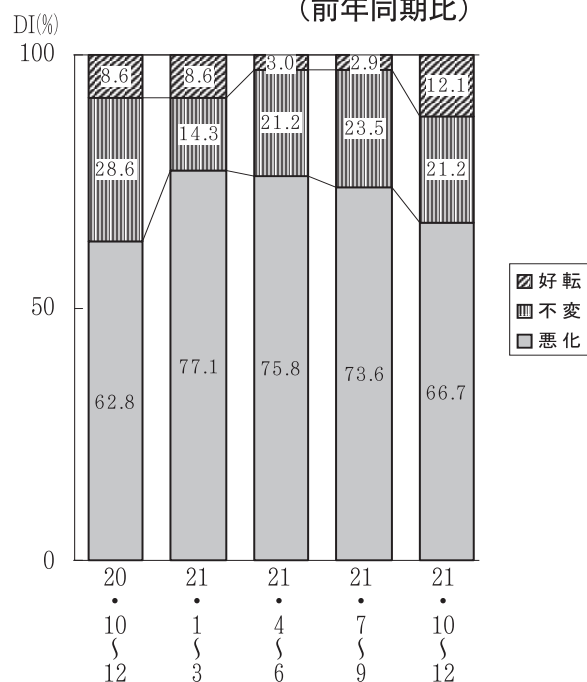
(b) 採 算

前年同期比で「増加・上昇」と回答した企業は全体の12.1%で9.2ポイント増加した。

一方、「減少・悪化」と回答した企業は66.7%(前期73.6%)に減少。

その結果、採算DIは△54.6(前期△70.7)と改善した。

図1-3 採算の状況
(前年同期比)



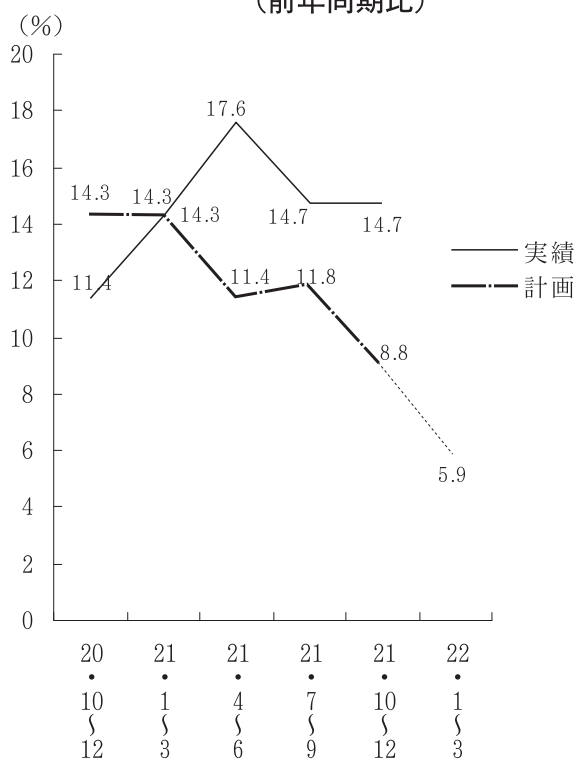
(c) 設 備 投 資

今期の新規設備実施企業割合は、全体の14.7%で、前期と同率であった。

その設備内容は、生産設備、車両運搬具、その他であった。

来期に設備投資を計画している企業は、全体の5.9%で、その設備内容は、生産設備、車両運搬具、付帯設備等を計画している。

図1-4 設備投資の状況
(前年同期比)

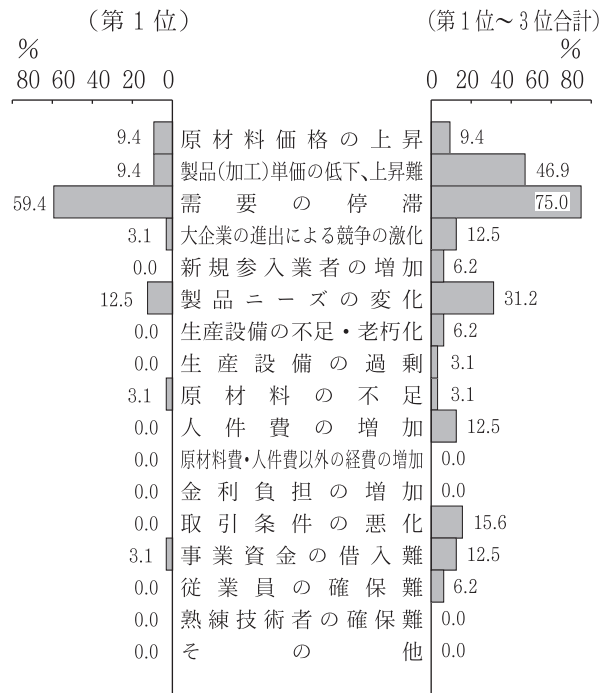


(d) 経営上の問題点

重要度第1位の問題点は、「需要の停滞」が全体の59.4%、次いで「製品ニーズの変化」が12.5%、「製品(加工)単価の低下、上昇難」、「原材料価格の上昇」が9.4%であった。

重要度第1位から第3位合計では、「需要の停滞」が75.0%(複数回答以下同じ)、「製品単価の低下・上昇難」が46.9%、「製品ニーズの変化」が31.2%と続いている。

図1-5 経営上の問題点



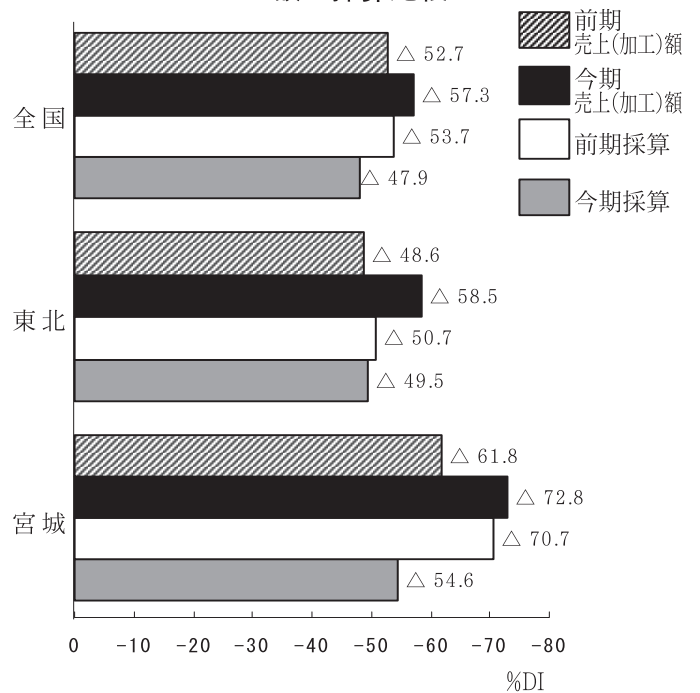
③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

売上額DIは、全国、宮城が上昇、東北は、前期並みの推移。

一方、採算DIは、全国、東北、宮城ともに改善した。宮城の改善幅が16.1ポイントと大きい。

なお、業況(自社)DIは、全国が△46.5(前期△54.0)、宮城は△57.5(前期△67.7)であり、自社の業況認識についても共に改善された。

図1-6 全国東北宮城売上(加工)額・採算比較



(2) 建設業の動向

① 主要景況項目から見たあらまし

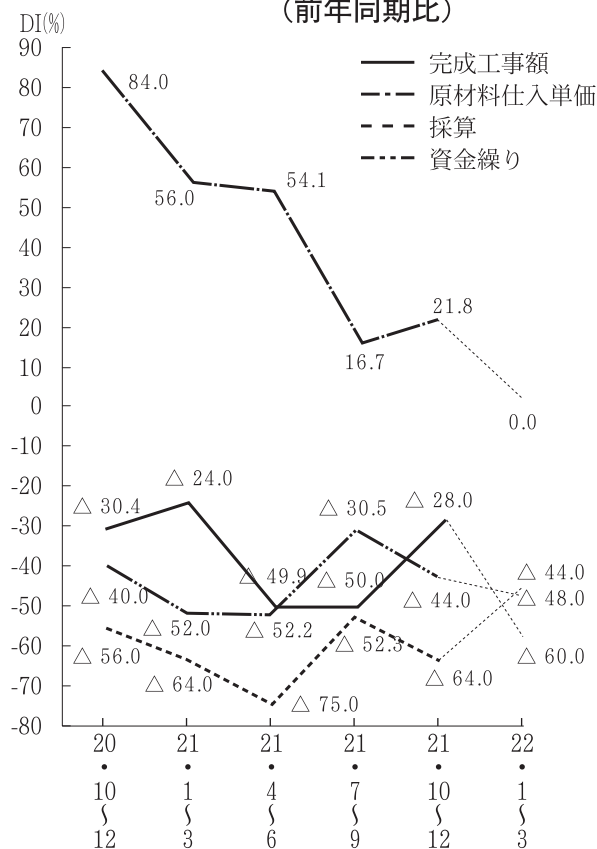
完成工事額は、22.0ポイント改善、反面、採算は11.7ポイント悪化した。資金繰りも前期比13.5ポイント悪化、採算、資金繰りとも厳しい結果であった。

経営上の問題点として、「民間需要の停滞」、「請負単価の低下・上昇難」、「大企業進出による競争の激化」が前期同様上位を占めた。

なお、業況DI△68.3(前期△62.4)も低下。

来期見通しについては、依然厳しく、完成工事高、資金繰りについては今期を下回る見通しとなっている。

図2-1 主要景況項目の推移
(前年同期比)



② 主要景況項目別状況

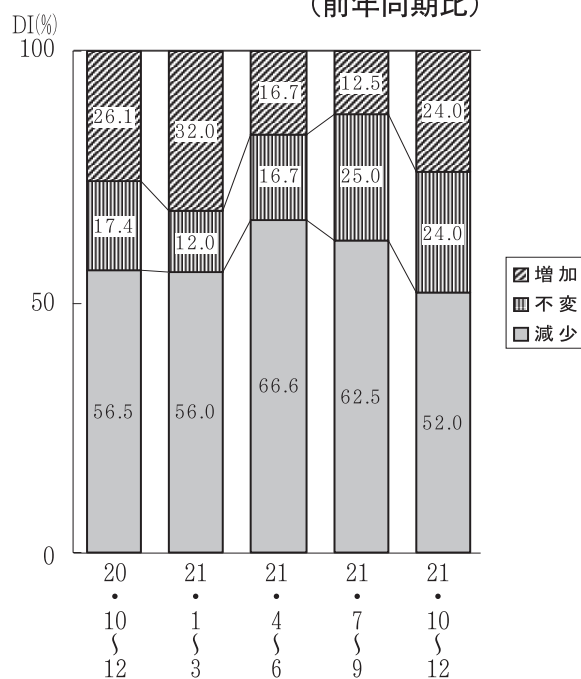
(a) 完成工事額

前年同期比で「増加・上昇」回答は全体の24.0%(前期12.5%)に減少した。

一方、「減少・悪化」と回答した企業は、全体の52.0%(同62.5%)、その結果、完成工事高DIは△28.0(前期△50.0)と改善した。

来期の見通しは、今期に比較して大きな下降幅であり、厳しい経営環境がうかがえる。

図2-2 完成工事額の状況
(前年同期比)



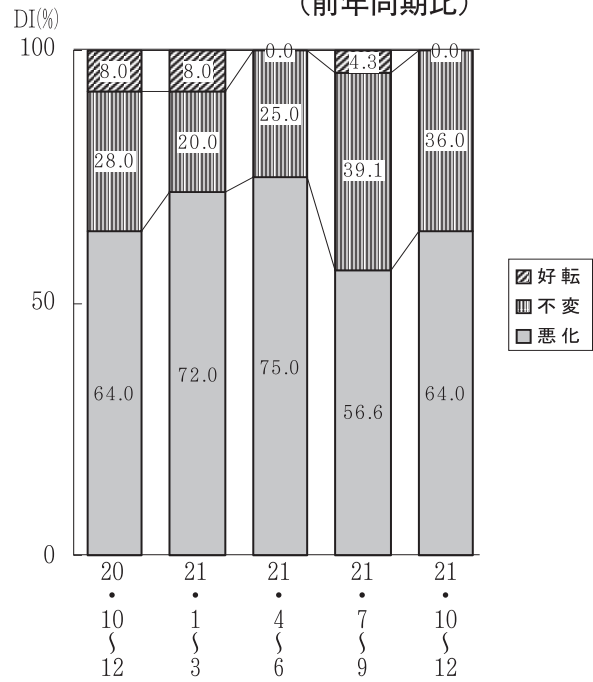
(b) 採算

前期 4.3%あった「好転・上昇」の回答は、今期は皆無であった。

一方、「減少・悪化」と回答した企業は、前期比 7.4 ポイント増加の 64.0%で、採算DIは、前期比 11.7 ポイント下降して△64.0 と大幅に悪化した。

来期の採算見通しは、若干の改善予測となっている。

図 2 - 3 採算の状況
(前年同期比)

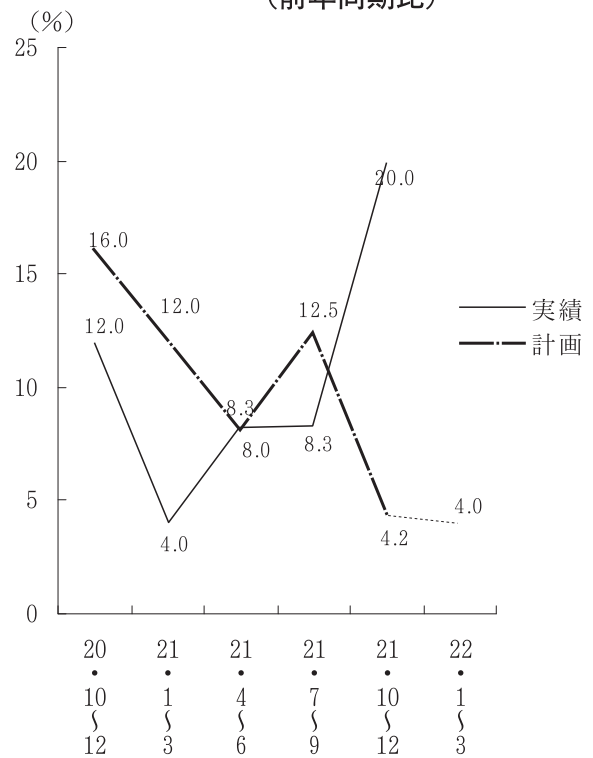


(c) 設備投資

今期、新規設備を実施した企業は、全体の 20.0%で、その設備内容は、車両運搬具、OA機器等である。

来期に設備計画している企業は、全体の 4.0%と大幅に減少、その設備内容は、建物等を計画している。

図 2 - 4 設備投資の状況
(前年同期比)



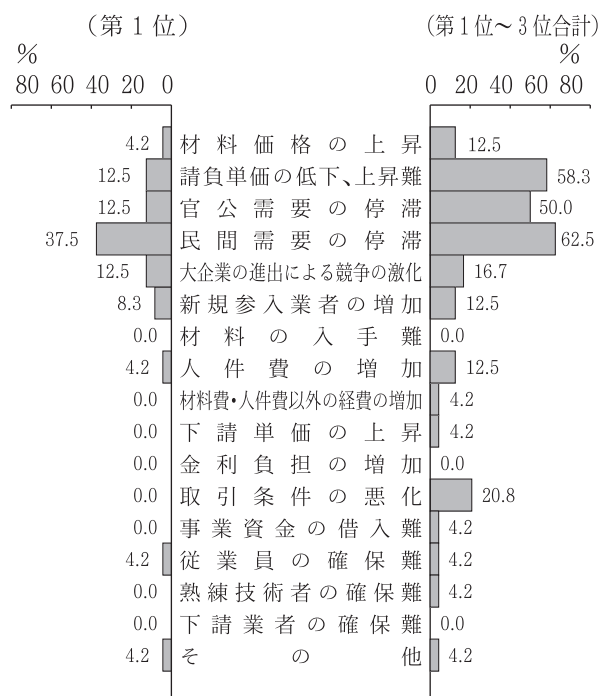
(d) 経営上の問題点

重要度第1位は、「民間需要の停滞」が37.5%、「請負単価の低下・上昇難」及び「大企業進出による競争の激化」が12.5%の結果となった。

重要度第1位から第3位合計では、「民間需要の停滞」が62.5%（複数回答以下同じ）、「請負単価の低下・上昇難」が58.3%、「民間需要の停滞」が50.0%と続いた。

「需要問題」が依然主体であり、増加傾向を示している。

図2-5 経営上の問題点



③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

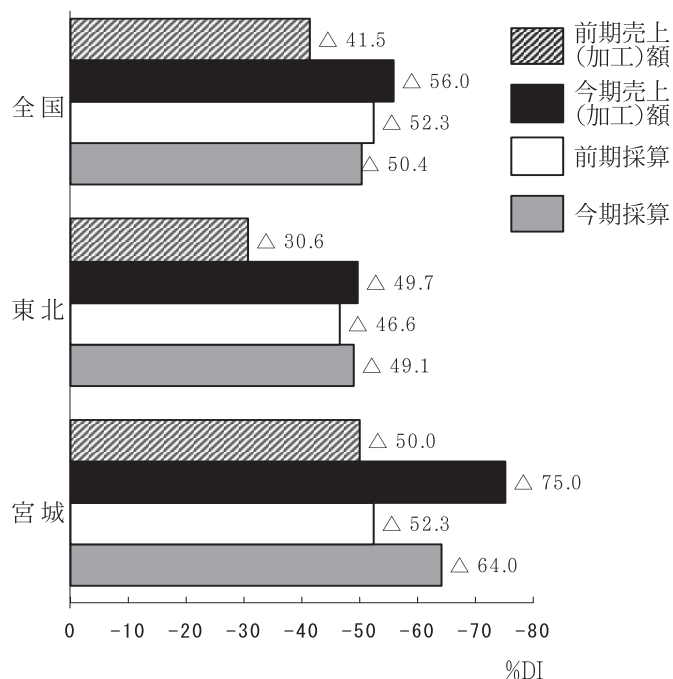
売上額(完成工事額)は、全国、宮城が上昇、東北は、横這い状態であった。

採算は、全国が若干改善、東北、宮城とも悪化した。特に宮城は11.7ポイントと下降幅が大きい。

来期見通しについては、売上額(完成工事高)は、全国、宮城ともに悪化予想となった。

採算は、宮城は改善、全国は、ほぼ今期並みの予測となっている。

図2-6 全国東北宮城売上完成工事額・採算比較



(3) 小売業の動向

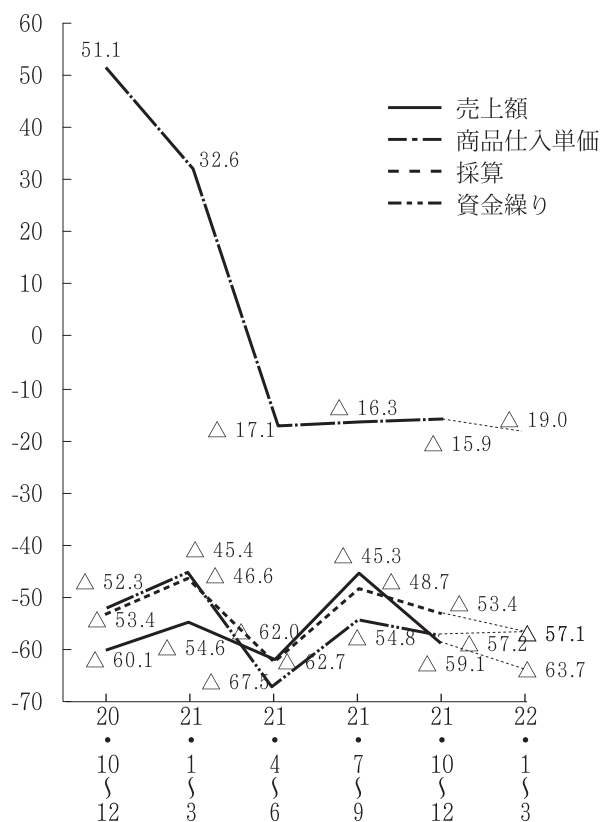
① 主要景況項目から見たあらまし

売上額D Iは13.8ポイント、採算D Iは4.7ポイントそれぞれ下降、自社の業況D Iについても△65.0（前期△59.0）と下降した。

資金繰りD Iは、前期比2.4ポイント悪化の△57.2となったが借入難度については、長・短資金ともに、ほぼ横這い推移である。

来期の見通しは、売上額、採算が悪化、資金繰りは、概ね今期並みの見通しとなった。

図3-1 主要景況項目の推移
(前年同期比)



② 主要景況項目別状況

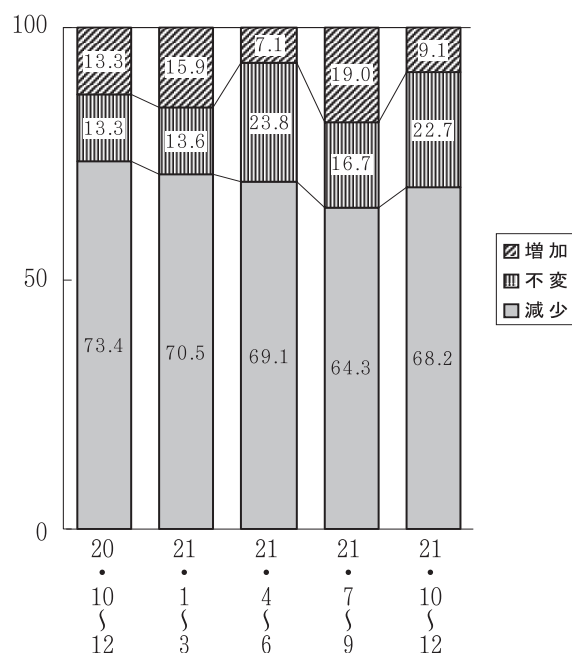
(a) 売上額

前年同期比で「増加・上昇」と回答した企業は全体の9.1%（前期19.0%）に減少した。

一方、「減少・悪化」の回答は全体の68.2%（前期64.3%）と増加した。

その結果、売上額D Iは前期比13.8ポイント下降した。

図3-2 売上額の状況
(前年同期比)



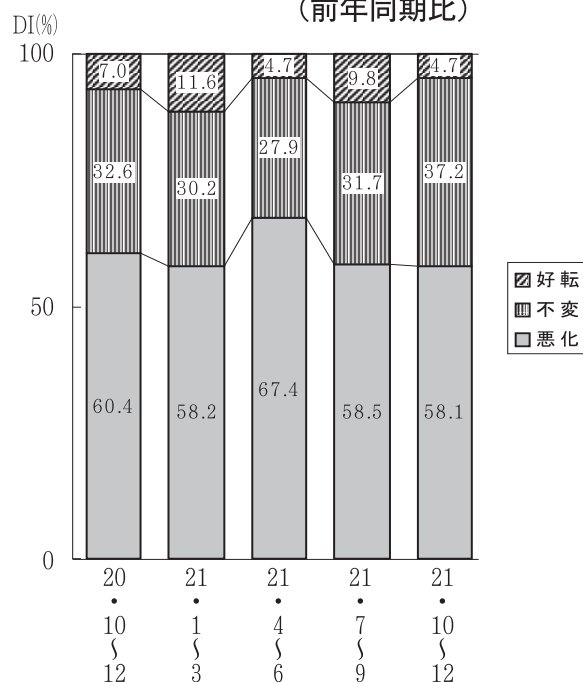
(b) 採 算

「好転・上昇」と回答した企業は、全体の4.7%で前期比5.1ポイント減少した。

一方、「悪化・低下」の回答は全体の58.1%でほぼ前期並みの推移であった。

その結果、採算DIは、△53.4となり、前期比4.7ポイント下降した。

図3-3 採算の状況
(前年同期比)

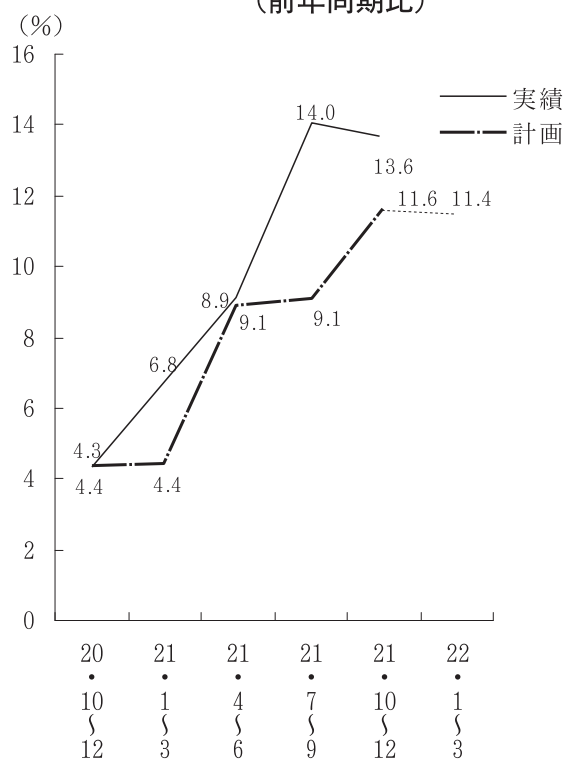


(c) 設 備 投 資

今期の設備実施企業割合は、全体の13.6%（前期14.0%）と横這い。その内容は、店舗、販売設備、車両運搬具、付帯設備、OA機器等である。

来期に設備計画している企業は11.4%で、その内容は、今期の設備内容とほぼ同様のものとなっている。

図3-4 設備投資の状況
(前年同期比)

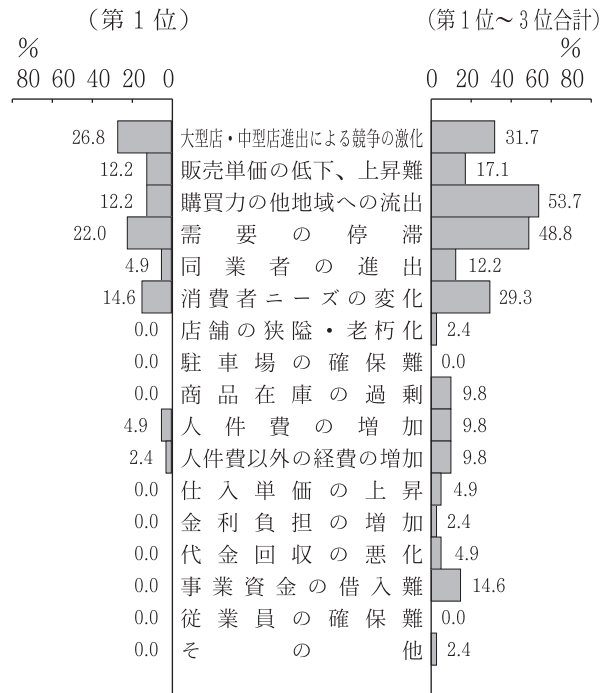


(d) 経営上の問題点

重要度第1位は、大型店・中型店の進出による競争の激化」が26.8%、「需要の停滞」が22.0%、次いで、「消費者ニーズの変化」が14.6%、と続いている。

重要度第1位から第3位合計は、「購買力の他地域への流出」が53.7%(複数回答以下同じ)、「需要の停滞」が48.8%、「大型店・中型店進出による競争の激化」が31.7%の結果となった。

図3-5 経営上の問題点



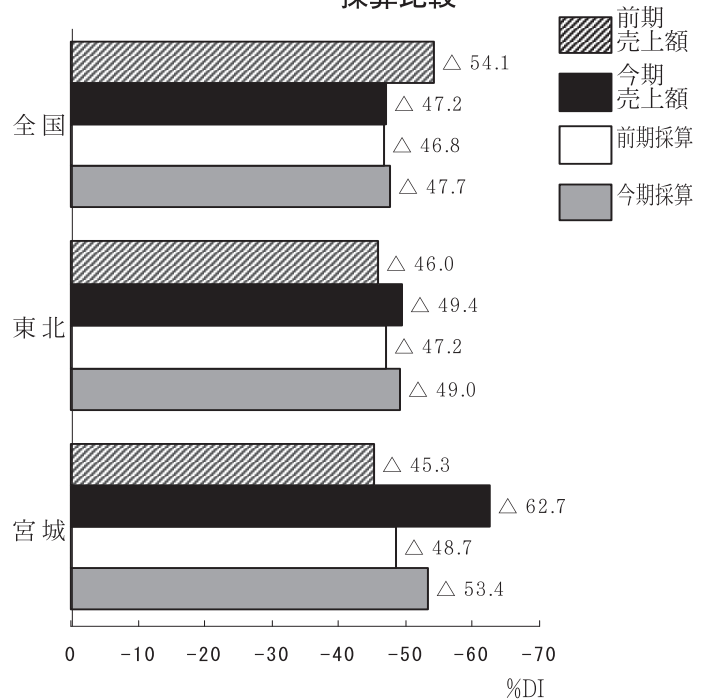
③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

売上額は、東北、宮城が下降、全国は横這い状態であった。東北、宮城とも下降幅が大きい。

採算は、全国、東北は、ほぼ前期並み、宮城は下降。宮城は、売上額、採算ともに悪化した。

一方、業況(自社)DIは、全国が△51.2(前期△50.2)、宮城は△65.0(同△59.0)であり、自社の業況認識についても共に下降、特に宮城に厳しいものがある。

図3-6 全国東北宮城売上額・採算比較



(4) サービス業の動向

① 主要景況項目から見たあらまし

売上額D Iは、前期比横這い、採算は、10.2ポイント下降した。

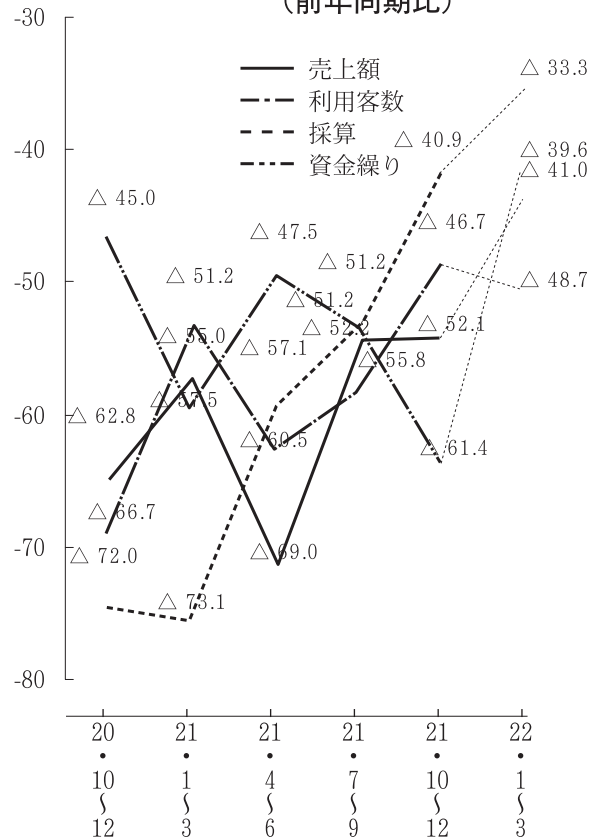
資金繰りは10.3ポイント改善、長・短資金借入難度、借入金利については、大きな変化なく、概ね前期並みの推移であった。

一方、「利用客数」は改善したが、「客単価上昇」の回答は皆無であった。

業況（自社）D I $\Delta 55.6$ （前期 $\Delta 55.8$ ）と自社の業況認識に変化はない。

来期見通しについては、売上額、採算、資金繰り共に改善予測となっている。

図4-1 主要景況項目の推移
(前年同期比)



② 主要景況項目別状況

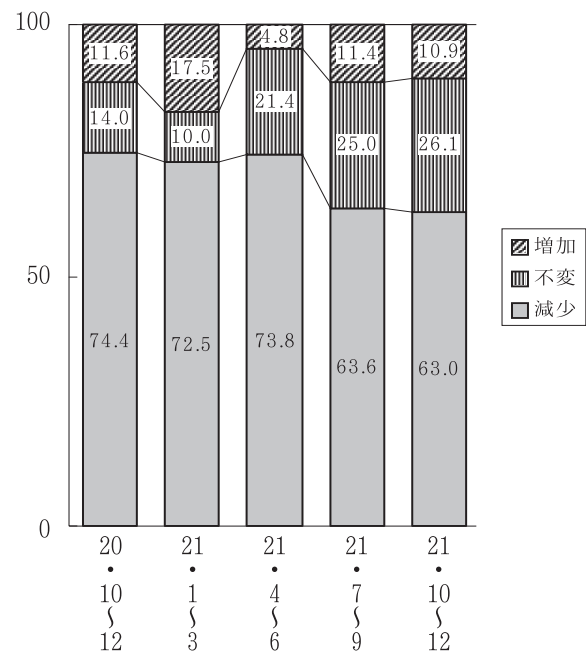
(a) 売上額

前年同期比で「増加・上昇」の回答は、0.5ポイント減少の10.9%である。

一方、「減少・悪化」の回答は、全体の63.0%となり、前期比0.6ポイント減少した。

その結果、売上額D Iは前期比ほぼ平調な推移となった。

図4-2 売上（収入）額の状況
(前年同期比)



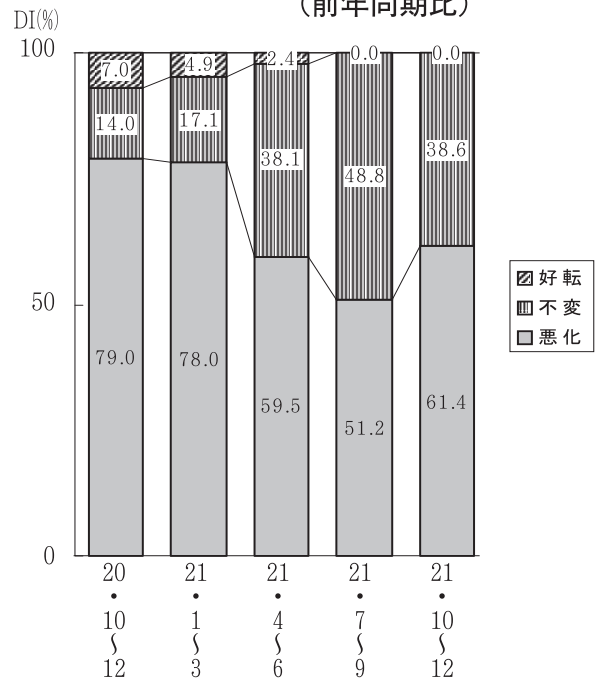
(b) 採 算

「上昇・好転」と回答した企業は、前期に引き続き、皆無であった。

一方、「低下・悪化」の回答企業は、全体の61.4%であり、前期比10.2ポイントの増加であった。

その結果、採算DIは△61.4となり、前期比10.2ポイント悪化した。

図4-3 採算の状況
(前年同期比)



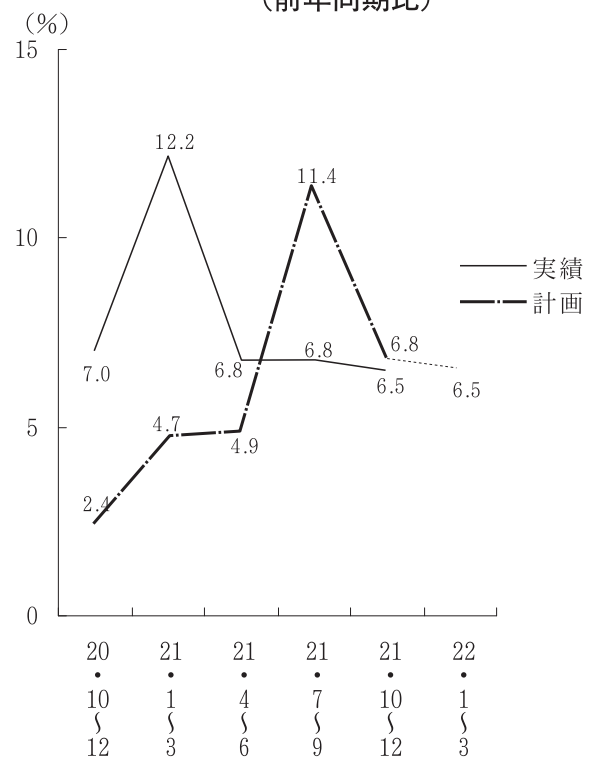
(c) 設 備 投 資

今期、設備を実施した企業は、全体の6.5%(前期6.8%)であった。

その設備内容は、サービス、車両運搬具、付帯設備等である。

来期に設備計画している企業割合は、今期同率の6.5%であり、その内容も、ほぼ今期同様のものとなっている。

図4-4 設備投資の状況
(前年同期比)

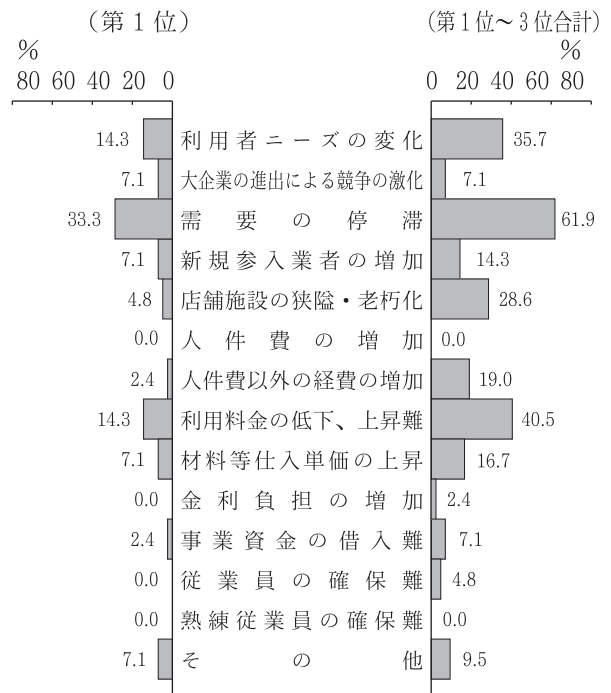


(d) 経営上の問題点

重要度第1位は、「需要の停滞」が33.3%、「利用者ニーズの変化」及び「利用料金の低下・上昇難」が14.3%と続いている。

重要度第1位から第3位合計では、「需要の停滞」が61.9%(複数回答以下同じ)、「利用料金の低下・上昇難」が40.5%、「利用者ニーズの変化」が35.7%の順となっている。

図4-5 経営上の問題点



③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

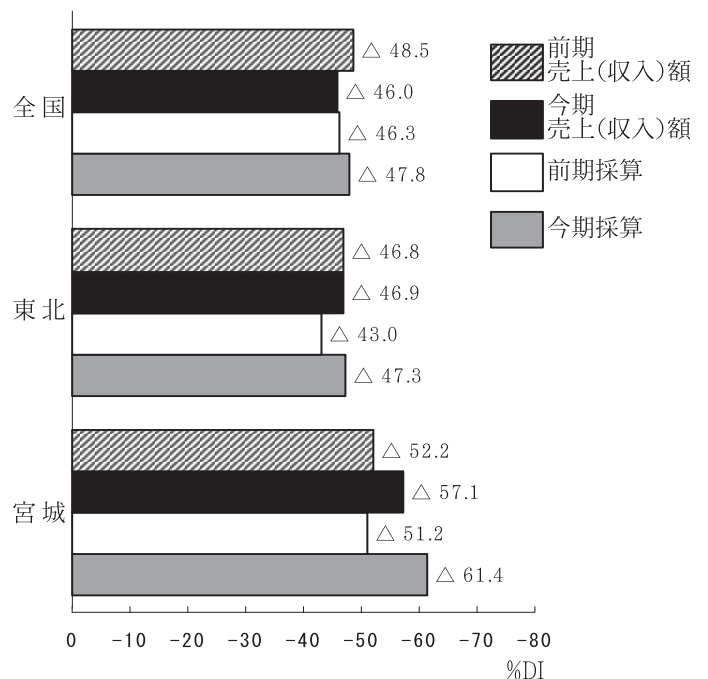
売上額DIは、全国、東北、宮城ともほぼ前期並みの推移である。

採算DIは、全国は横這い、東北、宮城は下降した。資金繰りDIは、全国が不変、宮城は改善した。

資金借入難度については、共に前期並みの推移であり、特に変化は見られない。

業況(自社)DIについては、全国が△47.2(前期△45.7)、宮城は△55.6(同△55.8)で、自社業況認識についても格差は依然大きいものがある。

図4-6 全国東北宮城売上(収入)額・採算比較





古紙配合率70%再生紙を使用しています